

# やまだんの 山田野

# 48

独立行政法人 北陸病院  
国立病院機構

〒939-1893 富山県南砺市信末5963  
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

## 新年のごあいさつ



病院長  
坂本 宏

新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこととところよりお慶び申し上げます。

ここ富山県南砺市では、八乙女山や医王山に訪れた白い冬がなかなか里まで降りてこないの、庭にそびえるヒマラヤ杉の大木も年の瀬に少しのんびりしている

ようです。北陸病院は昭和19年の開設以来、76回目の新年を迎えようとしています。

さて、近年は次々と自然が猛威を振るい、その度に災害への人の関与を探して責任論が巷間を騒がしているのも相変わらずです。そして年の暮れにスペインのマドリードで国連気候変動枠組み条約第25回締約国会議 (COP25) が開催され、パリ協定で定められた『世界の平均気温の上昇を産業革命前の2度未満に抑える』を目標に全ての国が参加する温暖化対策が2020年から始まります。しかし、今年中に気候変動による被害を世界で一番被ったとされる日本は、脱炭素化が言われる中、石炭火力発電を今後も建設していくとしており、温暖化対策に消極的な国に与える『化石賞』を贈られました。一方で、中・米・露・印など日本より多くのCO<sub>2</sub>排出国についての言及は少ないなど国家間の争いも関係している上に、現在言われている地球温暖化や将来予測などがその通りになるとは科学力をもってしても明らかではないようです。情報とされているものの氾濫に貧弱な知識では判断に戸惑うことも多々ありますが、漠然とこの国の行く末が案じられます。

それは医療面でも同様で、社会全体の有り様に強く影響すると思われる地域医療構想に関して、

地域の風土・歴史・文化や個々の病院の特性を何ら考慮することなく、必要病床の数を机の上で決められた計算式により導き出して機械的に決定し、厚労省はそれを地域に強く示すということが行われました。確かに当地域においても、超高齢化、人口減少、過疎化など大きな変動が高速に進むなか、社会構造や経済的背景の変化も組み入れながら、どのような医療の在り方が望ましいのかについては地域全体で考えていかなければならないと思います。富山県は世帯あたりの収入が多くかつ世帯主以外の収入が日本一という県であり、真面目な働き者が多い地域の皆さんにも安心していただけるよう、当院としては、認知症を含む精神障がい、強度行動障害を伴う重度知的障がい、そしてパーキンソン病や脊髄小脳変性症など身体障がい、そしてそれらを併せ持っている重複障がいの方々一人ひとりの思いを大切にしながら、質の高い医療を誠実に提供していくことを2020年に向けてあらためて誓うものです。

最後に、皆さまにとりまして幸多い年になりますよう祈念しまして年頭のご挨拶といたします。どうぞ今年もあたたかいご支援とご助言をこそよりお願い申し上げます。



## 第73回 国立病院総合医学会の ベストポスター賞を受賞して

薬剤科 舟瀬 英司



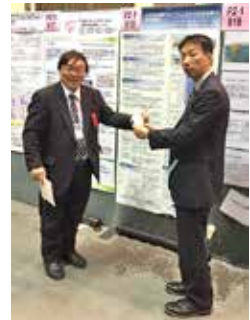
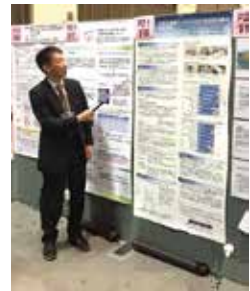
2019年11月8日・9日に名古屋で開催された第73回 国立病院総合医学会に参加して、院内の感染防止対策の取り組みについて発表してきました。国立病院総合医学会は、独立行政法人国立病院機構に関連する全国の医療機関に勤務する医療者が、日頃の研究成果を発表できる学会です。今年度も講演やポスターによる数多くの研究発表があった中で、自身の発表した研究内容がベストポスター賞をいただくことができました。

発表内容は、院内における消毒剤の使用実態が適正かどうかを確認することを目的として、「次亜塩素酸ナトリウムにおける浸漬消毒の実態調査」とのタイトルで取りまとめて発表しました（「次亜塩素酸ナトリウム」とは家庭で使われる「ハイター®」などにも含まれる塩素系消毒剤です）。具体的には浸漬消毒（医療器具を消毒液に浸けて消毒する方法）に用いている次亜塩素酸ナトリウム液（以下、浸漬液という）について調査を行って、実態を評価したものです。調査内容は、浸漬液の消毒効果に影響する塩素濃度の測定と、調製者に使用中の浸漬液の管理状況について聞き取り調査を行いました。

病棟における浸漬液の塩素濃度の測定結果は、基準値を大きく逸脱するものはなく、おおむね良好でした。しかし、浸漬液の管理方法を調製者に聞き取りしたところ、今後、消毒効果の低下が懸念される管理状況が見受けられました。院内の感染制御において、浸漬液の消毒効果が使用期間中に常に保持されていることは重要と考えます。今回の調査結果から、消毒剤の適正使用を推進するためには、消毒剤の特性とその管理の方法について、取り扱う職員自身が十分に理解を深めて、実践することが不可欠であると感じました。

この調査で得られたことを踏まえて、今年度、院内の感染防止対策として職員向けの消毒剤の理解を深めるための研修会を計画して、計3回実施しました。講義形式ではなく実習型の研修会にしたことで多くの職員に興味を持ってもらい、8割近い職員に参加してもらうことができました。また、研修実施後の参加者アンケートでも消毒剤への理解が深まったとの回答があり、消毒剤の適正使用に繋がる知識を習得する良い機会になったと思います。

今回の発表にて、ベストポスター賞をいただいたことを励みに、今後も継続して院内の感染防止対策に取り組むたいと考えています。なお、多忙にもかかわらず、当該調査に協力いただいた病棟スタッフに対して、この場を借りて感謝申し上げます。



## 北陸病院合同文化祭

南2階病棟 鈴木 淑夫

10月30日・31日と2日間に渡り合同文化祭を行いました。

各病棟やデイケアで1年間制作してきた作品を、体育館に一堂に展示しました。力作が勢ぞろいで、中には「これ素敵だね、欲しいなー」との声が聞かれた作品もありました。それぞれが創意工夫され一生懸命作った作品ばかりで、自分の作品を見つけてはニコニコ見つめる姿など、とても心安らぐシーンが数多く見られました。いろいろな作品を見て、患者さんもお家族も、私たち職員



も心豊かになった気がします。31日には今年で5年目となる、弦楽四重奏フェリーチェの皆様の演奏会も開催され、短い時間でしたが、ソプラノのきれいな歌声と弦楽四重奏のハーモニーを聴くことができ、楽しく芸術的な気分になることができました。

# 包括的暴力防止プログラムってなに？

看護師 CVPPPインストラクター 堂田 武志

## 医療の現場で起きる暴力

包括的暴力防止プログラム（以下、CVPPP（シーブイトリプルピー））は2004年に始まった、医療現場で起きる暴力や攻撃性に対し適切に介入する手立てです。暴力によって引き起こされる不利益から患者さんを保護し、患者さんが暴力を起こさないよう落ち着いて対応出来るよう支援するという積極的な視点を持つとともに、暴力が起これないように予防的介入を行います。介入というと暴力が起きた時の直接的な介入をイメージしてしまいがちですが、暴力が起こった後に生じるストレスや感情の軽減なども含まれています。このプログラムは、攻撃的な患者さんに対しケアとしていかに寄り添い、怒りがおさまるよう安全に治療的に関わるかということを大切にしています。



## 当院におけるCVPPPの取り組み

CVPPPの研修は全国各地で開催されており、CVPPPトレーナー養成研修の修了者は1万人を超えています。当院では、年に2回のCVPPPトレーナー養成研修と、その修了者に対しフォローアップ研修を行っています。今回、令和元年11月18日から4日間を通してCVPPPトレーナー養成研修を開催しました。6名の看護師と1名の療養介助専門員が参加しています。

研修内容は、まず1日目の午前中に机上研修を行います。医療現場がこれまでどのように暴力と向き合ってきたか、CVPPPの理論やその背景、暴力への向き合い方などについての知識を学びます。残りの多くの時間は、実際の臨床場面でのように対処していくかについて実技に割きます。実技では技術を学ぶだけでなく、模擬実践やグループディスカッションを通して、患者さんの立場に立って考えたり話し合いながら理解を深めていきます。



## CVPPPの研修効果

CVPPPトレーナー養成研修修了後には、早期介入が可能になる、身体介入を最小限にとどめることができる、大きな怪我がなくなる、男女問わず活用できるなどの効果が挙げられています。今回の研修でも「暴力への対応に共通した認識ができるため安心感が高まった」「暴力に対してどのように対処するか、道筋が明確になり自信がもてるようになった」「暴力発生時の対応だけでなく普段からの暴力防止に向けても活用していきたい」などの感想が聞かれました。

## まとめ

暴力と聞くと非常にネガティブな印象がありますが、CVPPPトレーナー養成研修では、その点にだけ焦点を当てるのではなく、日々の関わりの中で患者さんからのサインに気づき、信頼関係を構築していくことの重要性について再認識をしていきます。このような研修を通して、相手の気持ちを理解し、共感する姿勢を示していくことで、患者さんと共に新しい対処方法を模索しながら、安全で安心できる治療環境を提供していきたいと思えます。

## 近隣施設への出前講座開催

認知症看護認定看護師 松井 常二

先日、老人保健施設より「介護施設での認知症介護について」の勉強会の依頼をいただきました。施設職員の方より“どのように対応すればよいのか”といった悩みに対して、具体的な方法を交えお話しをさせていただきました。“よいケアとは何か”と悩むことも多いですが、今後もこのような機会を活かし、多くの方と一緒に考えていければと思います。

## 外来担当医表

項目	月	火	水	木	金
精神科（初診）	石橋・坂本	志摩・岩戸・坂本	白石・池田	松下・白石	市川・石崎
精神科（再診）	松下・市川	白石・池田	石橋・志摩	市川・岩戸	池田・松下
脳神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田・小竹	小竹
内科	渡辺	渡辺	中村(渡辺)	(渡辺)	(渡辺)
心療内科			白石		
睡眠外来（初診）			細川	細川	
睡眠外来（再診）	吉田	細川	細川		
専門外来	もの忘れ外来（吉田・坂本・市川・池田） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 重症心身障害児<者>外来（石崎・池田） 認知行動療法外来（うつ、不眠）（白石）		認知症セカンドオピニオン外来（吉田） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 禁煙外来（白石）		
<p>●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。</p> <p>●受付時間・・・8:30～11:30 診療時間・・・8:30～12:00</p> <p style="text-align: center;"><b>【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950</b></p>					
デイケア	担当：岩戸				
担当医	志摩・岩戸	志摩・岩戸	志摩・岩戸	志摩・岩戸	志摩・岩戸

※ 担当医が不在の場合、当日主の再診医（午前）

## 看護職員 随時募集中

- \*常勤看護師
  - \*非常勤看護師……
  - \*非常勤看護助手…
- 時間・曜日などは要相談  
(週28～32時間内)

採用試験は随時行っています。 病院見学大歓迎!

元気に働ける方、大募集!!!  
私たちと一緒に『北陸病院』で  
お仕事しませんか。

平日10時から  
実施しています。

時間は  
要相談

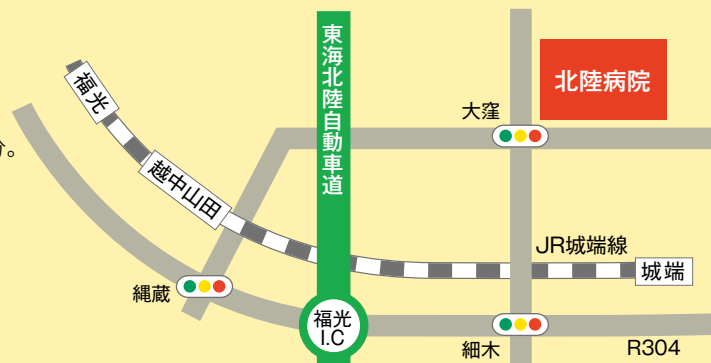


連絡先 独立行政法人国立病院機構北陸病院 庶務班長

〒939-1893 富山県南砺市信末5963  
TEL: 0763-62-1340 (代表)

## 【交通アクセス】

- ◆交通機関  
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。
- ◆高速道路  
東海北陸自動車道、福光ICより約5分。
- ◆南砺市コミュニティバス  
JR城端駅・福光駅より出ています。



## 独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

認知症疾患医療センター

睡眠医療センター

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】池田・坪井・岡島・坂本